

# 令和6年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
人間発達学		講義・演習	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人間は生涯にわたり心身の構造や機能が変化していくものであり、人間発達学ではその変化を広く発達と捉えている。それぞれの発達期においてどのような発達過程にあり、その発達課題について学ぶ。特に理学療法に必要な基礎知識として、正常運動発達について深く理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 胎生期・小児期の成長、発達全般を説明できる。2. 出生から歩行獲得までの運動発達の質的变化を理解できる。3. 運動発達のマイルストーンを説明できる。4. 胎生期から老年期までの変化を発達と捉えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	人間発達学総論			
2	胎生期の発達			
3	出生・新生児期の発達			
4	小児期の成長と成熟			
5	正常運動発達総論・姿勢反射			
6	正常運動発達各論(1)			
7	正常運動発達各論(2)			
8	正常運動発達各論(3)			
9	正常運動発達各論(4)			
10	正常運動発達各論(5)			
11	正常運動発達各論(6)			
12	正常発達：微細運動・目と手の協調性			
13	その他の分野の発達・発達評価			
14	小児期以降の発達			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%			
レポート・課題	30%	小テスト・課題を実施する。課題については内容と提出状況を評価する。形式や提出期限を守らない場合は減点する。		
小テスト				
平常点	10%	授業に取り組む姿勢・態度を評価する(居眠り・忘れ物を含む)。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載	随時資料を配布する			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト 改訂第3版	監修 細田多穂		南江堂	
自由記載				
備考				